



2024年8月9日

各位

会社名 横浜ゴム株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 山石 昌孝  
(コード: 5101 東証プライム)  
問合せ先 IR 室長 西川 裕一  
(TEL. 0463-63-0427)

## 中期経営計画「Yokohama Transformation 2026」(2024~2026年)における 財務目標の見直し(上方修正)に関するお知らせ

当社は、2024年2月16日に公表しました新中期経営計画「Yokohama Transformation 2026 (YX2026)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク)の財務目標を下記のとおり上方修正しましたので、お知らせいたします。

### 1. 見直しの理由

当社は、2024年度より開始した中期経営計画「YX2026」において、既存事業における強みの「深化」と新しい価値の「探索」をさらに推し進め、次世代に負の遺産を残さないという強い意志を持って変革の「総仕上げ」に取り組んでいます。こうした考えの下、各事業で定めた成長戦略を断行し、「YX2026」中または2027年度に「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」の成長)を果たすことを目指しています。

当初、2026年度の経営目標は、売上収益1兆1,500億円、事業利益1,300億円、事業利益率11%を掲げていましたが、足元の業績好調、今後進める「技術・生産改革」の実現に加え、2024年7月22日付「ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー社の鉱山・建設車両用タイヤ事業の譲受に関するお知らせ」で公表したとおり、グッドイヤーOTR事業が業績に加わる見通しであることなどから、売上収益は1,000億円増の1兆2,500億円、事業利益は200億円増の1,500億円、事業利益率12%にそれぞれ上方修正いたします。

### 2. 財務目標の変更内容

財務目標 (2026年度)

	変更前	変更後
売上収益	1兆1,500億円	1兆2,500億円
事業利益	1,300億円	1,500億円
事業利益率	11%	12%
自己資本比率	50%を目安	50%を目安
ROE	10%超	10%超
営業キャッシュフロー	3,850億円(3年間累計)	4,100億円(3年間累計)
設備投資	減価償却費以内(除く戦略投資)	減価償却費以内(除く戦略投資)

以上

# 2024年度上期決算説明会

---

2024年8月9日  
横浜ゴム株式会社

**1. 2024年上期実績および年間計画修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**2. 2024年上期決算説明**

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

**3. 中期経営計画YX2026の進捗**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**4. 技術・生産改革コミットメント**

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

**5. YX2026目標数値の上方修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**1. 2024年上期実績および年間計画修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**2. 2024年上期決算説明**

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

**3. 中期経営計画YX2026の進捗**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**4. 技術・生産改革コミットメント**

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

**5. YX2026目標数値の上方修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

# 1-1) 2024年上期実績・年間計画について

## 上期実績

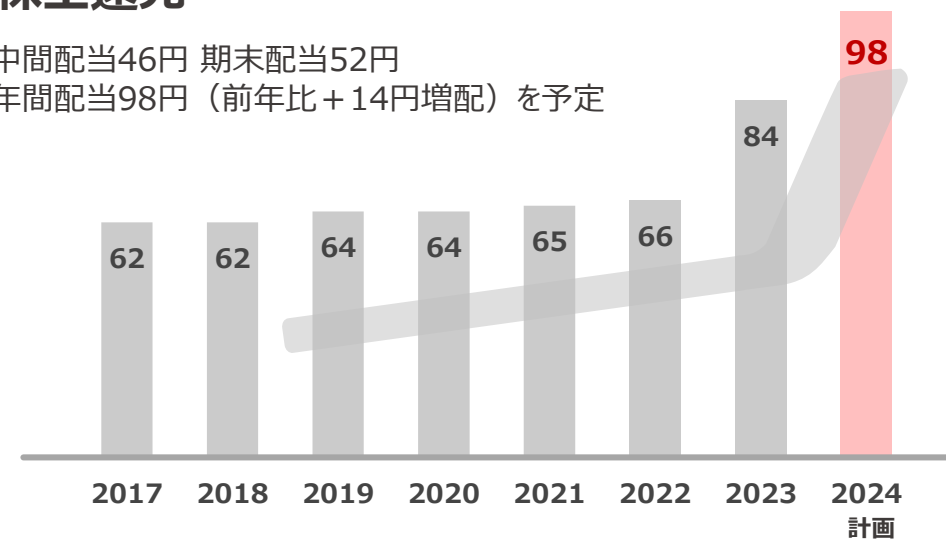
単位 (億円)	2024年上期実績	期初増減	計画比増減率	前年比増減	前年比増減率
売上収益	5,253	+253	+5.1%	+821	+18.5%
事業利益	546	+126	+29.9%	+290	+113.4%
事業利益率	10.4%	+2.0%	-	+4.6%	-
営業利益	563	+133	+30.8%	+281	+99.6%
当期利益	466	+211	+82.7%	+189	+68.3%

## 年間計画修正

単位 (億円)	2024年計画	期初目標
売上収益	11,050	10,600
事業利益	1,285	1,150
事業利益率	11.6%	10.8%

## 株主還元

中間配当46円 期末配当52円  
年間配当98円（前年比+14円増配）を予定



## 1. 2024年上期実績および年間計画修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

## 2. 2024年上期決算説明

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博 →「2024年度第2四半期決算説明会資料」  
をご参照ください。

## 3. 中期経営計画YX2026の進捗

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

## 4. 技術・生産改革コミットメント

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

## 5. YX2026目標数値の上方修正について

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**1. 2024年上期実績および年間計画修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**2. 2024年上期決算説明**

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

**3. 中期経営計画YX2026の進捗**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**4. 技術・生産改革コミットメント**

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

**5. YX2026目標数値の上方修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝



**YOKOHAMA**  
**Transformation 2026**

深化×探索 による 変革の 『 総仕上げ 』

※ 負の遺産は次世代に残さない





## 「成長戦略」による企業価値向上

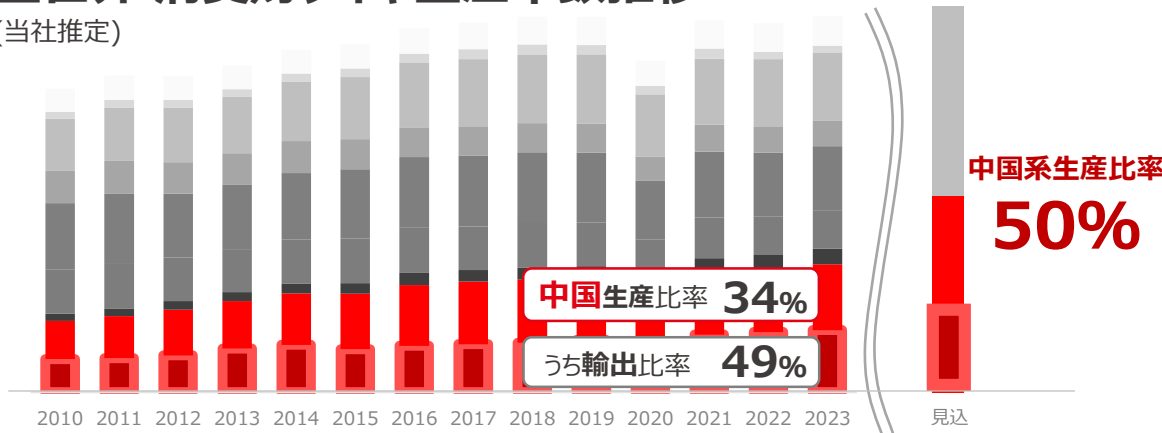


# 3-3) YX2026 タイヤ消費財 成長戦略の進捗

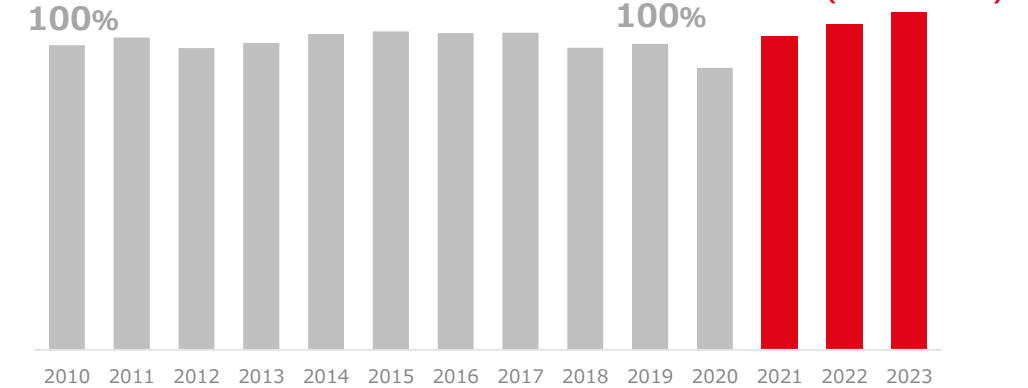


## 全世界 消費財タイヤ生産本数推移

(当社推定)

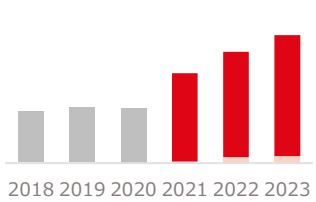


## 横浜ゴム 消費財タイヤ販売本数推移

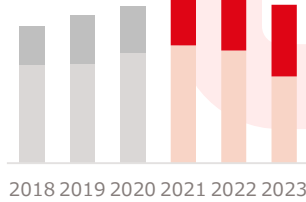


### 低コスト生産 (探索)

YRCインド販売本数



YRC中国販売本数



REP OE

## 『1年工場』への挑戦

メキシコ新工場 / 中国杭州新工場  
(追い金なし)

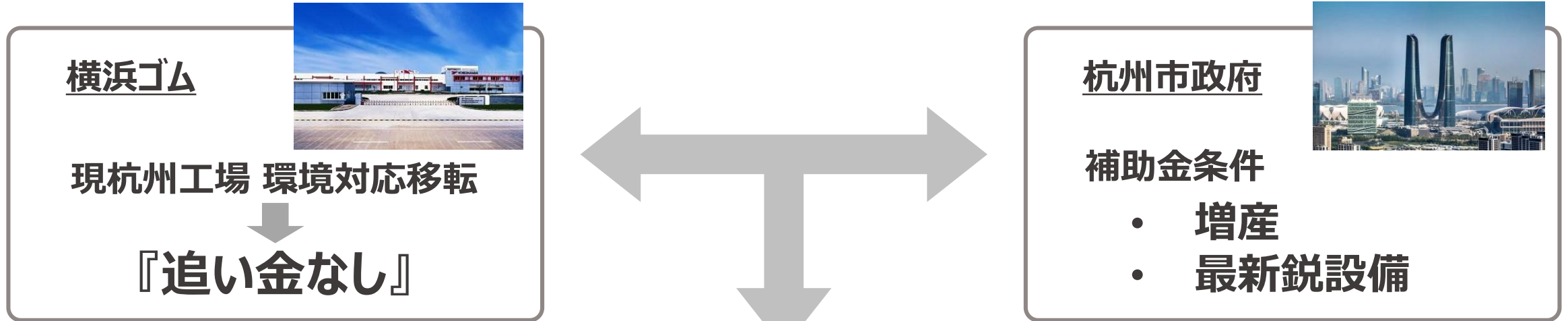
### AGW (深化)



※YOKOHAMAブランド比率99%

ブランドMIX  
インチMIX  
販社化・代理店政策

# 3-4) YX2026 タイヤ消費財 成長戦略の進捗：中国1年工場



**600万本 + 増産 300万本 = 900万本**

**300万本の投資金額でやり切る**

**パートナー 補助金**

**『1年工場』**

**大幅なコストダウン**



汎用商品 | 低コスト生産



AGW | 更なる利益率UP

# 3-5) YX2026 タイヤ消費財 成長戦略の進捗：上期活動実績



## プレミアムカーへの新車装着



クラウンCROSSOVER RS  
"LANDSCAPE"



LEXUS 新型「GX550」

## 北米GEOLANDAR新商品発売

GEOLANDAR  
A/T4

2024年6月発売



## モータースポーツ活動



SUPER GT第2戦のGT300クラスでワンツーフィニッシュ

## タイヤ消費財 販売本数上期実績

欧州

**115%**  
2Q 131%

中国

**96%**  
2Q 95%

日本

**100%**  
2Q 113%

アジア・インド

**115%**  
2Q 123%

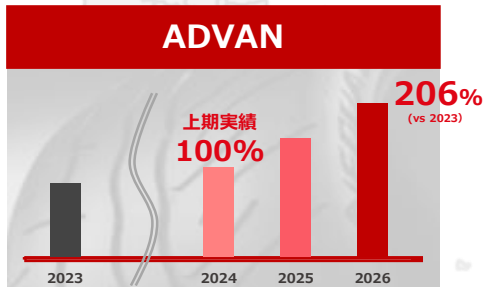
北米

**100%**  
2Q 97%

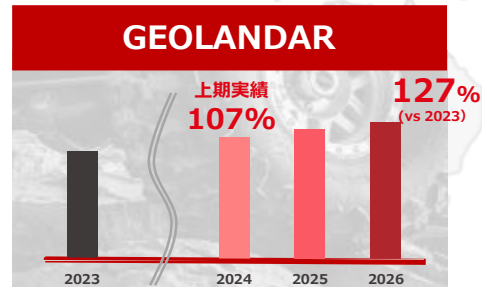
※フレンドタイヤ除く

## 高付加価値商品販売実績

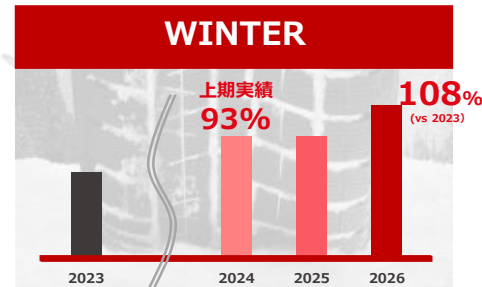
ADVAN



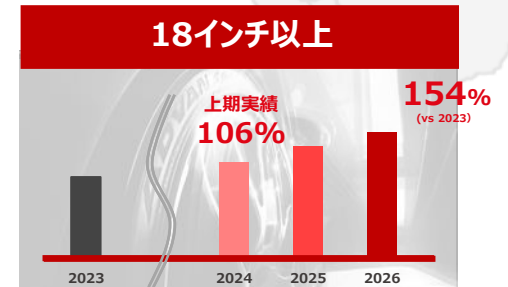
GEOLANDAR



WINTER



18インチ以上

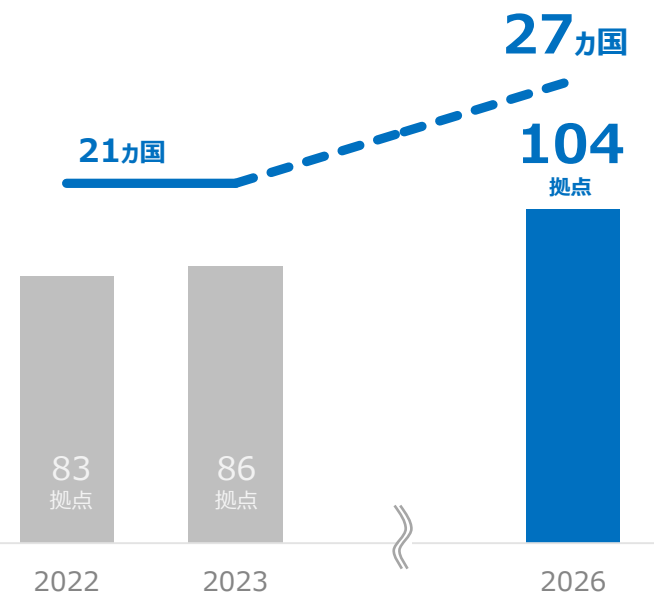


# 3-6) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗

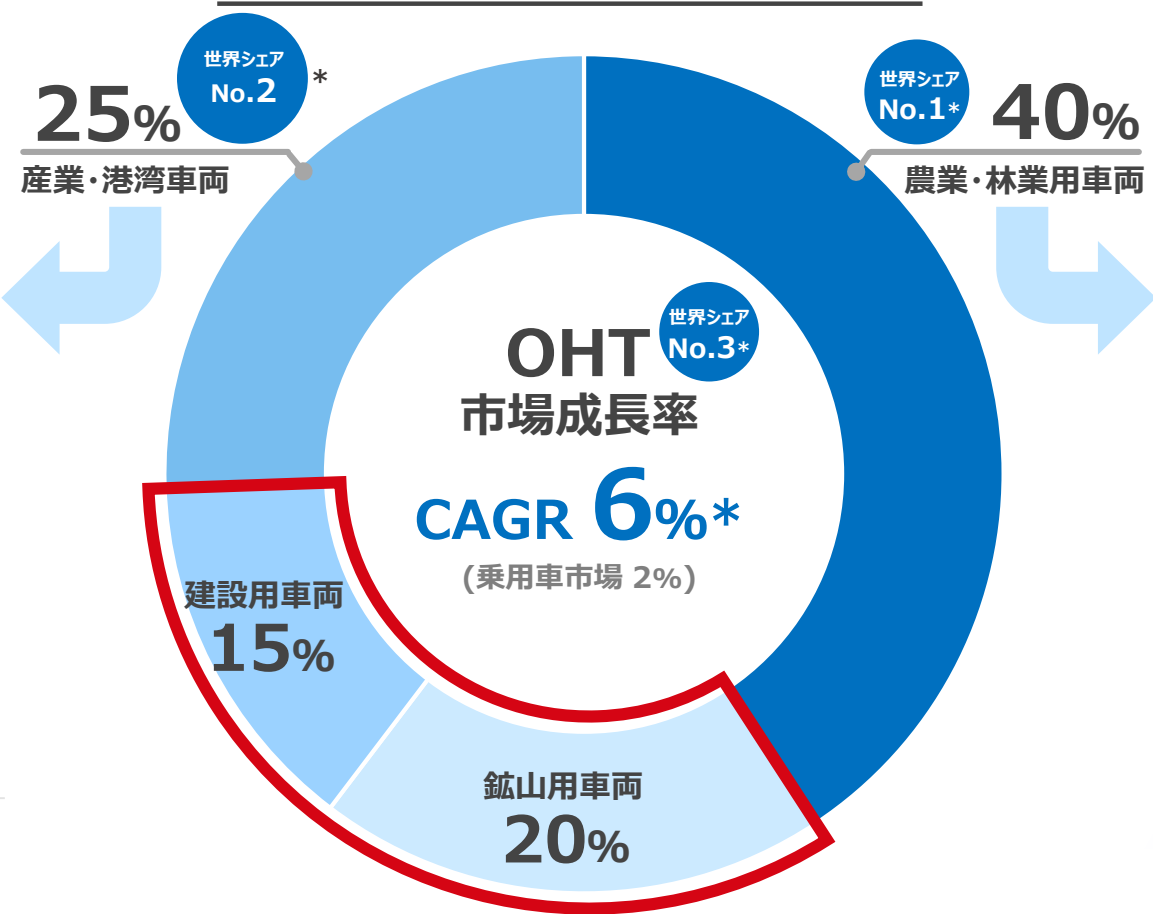


\*当社推定

**interfit**  
service • excellence  
**サービス強化**



**市場規模 約4兆円\***



**マルチブランド戦略**



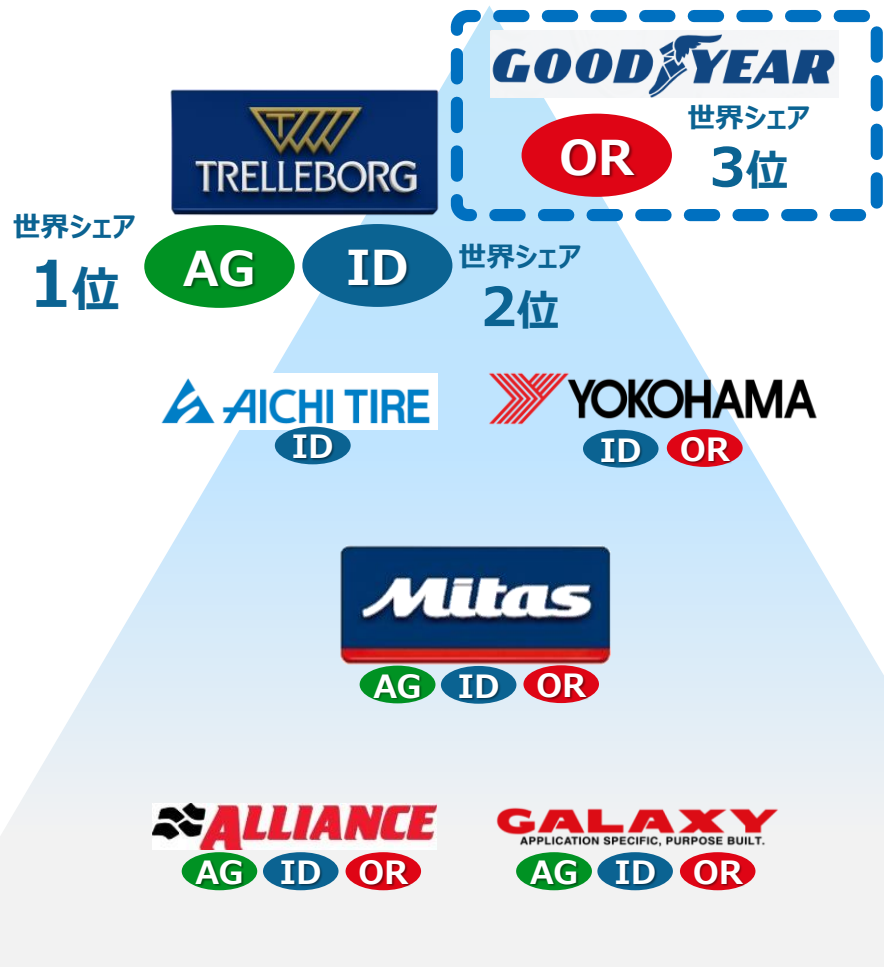
(各々 生産・技術・販売)

**「 Programmatic M&A 」**




(中央円グラフ：オフハイウェイ・タイヤの世界需要構成比)

# 3-7) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗：ブランド体系・商品ポートフォリオ



	Agriculture	Forestry	Lawn Garden & Turf	Material Handling	Construction	Earthmover & Mining	Truck (OR)
YOKOHAMA AICHI TIRE TRELLEBORG	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗
Mitas	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗
ALLIANCE GALAXY	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗

Goodyear OTR事業  
買収後



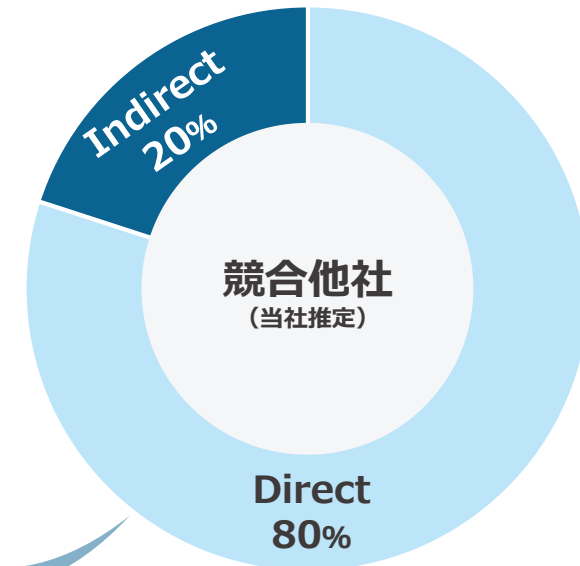
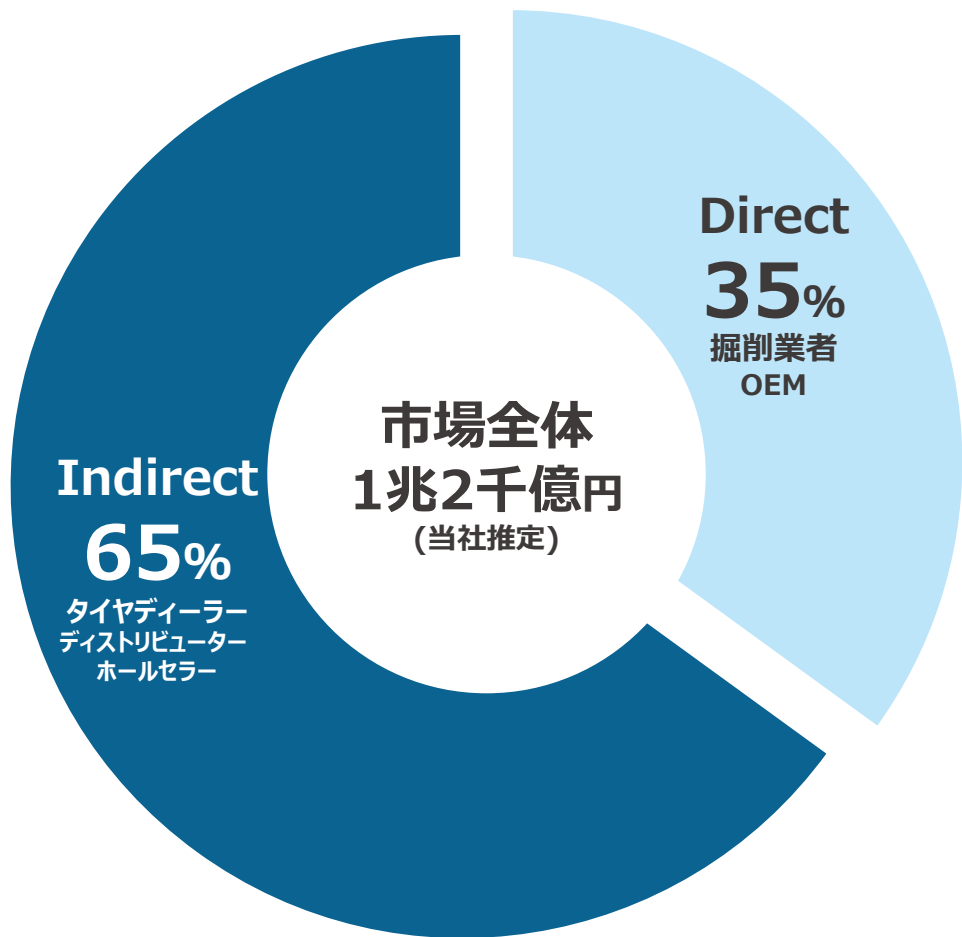
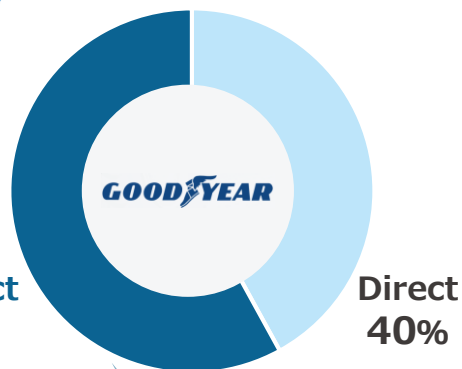
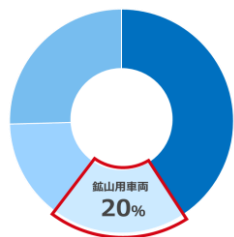
	Agriculture	Forestry	Lawn Garden & Turf	Material Handling	Construction	Earthmover & Mining	Truck (OR)
YOKOHAMA AICHI TIRE TRELLEBORG	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Mitas	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗
ALLIANCE GALAXY	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗

# 3-8) YX2026 タイヤ生産財 成長戦略の進捗：生産移管



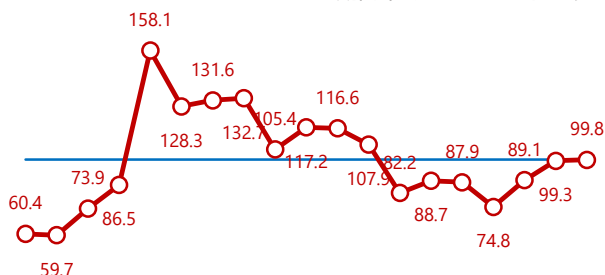
		買収前						買収後		
		YOKOHAMA			GOOD YEAR			GOOD YEAR + YOKOHAMA		
		ラジアルORタイヤ スターマーク			ラジアルORタイヤ スターマーク			ラジアルORタイヤ スターマーク		
		★	★★	★★★	★	★★	★★★	★	★★	★★★
 小型サイズ	~25"	✓	✓	✗	△	△	△	✓	✓	✓
					(欧米等生産：高コスト)			(当社工場への移管によるコスト改善)		
 中型サイズ	29~45"	✓	✓	✗	△	△	△	✓	✓	✓
					(欧米等生産：高コスト)			(当社工場への移管によるコスト改善)		
 大型 超大型サイズ	49"	△	△	✗	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		(生産能力不足)			(日本生産：高収益)			(供給能力改善)		
	57"	△	△	✗	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		(オフイク・関税問題)			(日本生産：高収益)			(供給能力改善)		
	63"	✗	✗	✗	△	△	△	✓	✓	✓
		(開発技術・生産能力なし)			(アメリカ生産：高コスト)			(たつの工場へ移設)		

## 同じTier 1 でも全く異なる戦略



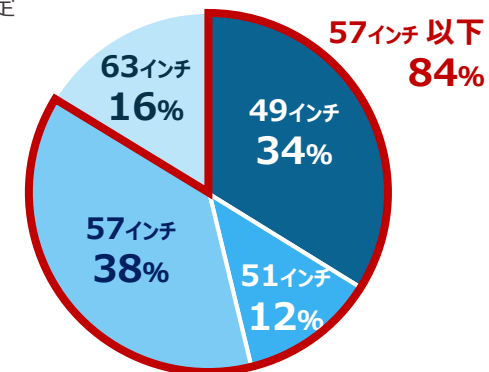
### ◆米国 OTR需要推移

\*2001-2019年  
期間平均を100としたインデックス



### ◆米国 49インチ以上 | インチ別需要構成

\*当社推定



2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019



## TBR事業

### 北米

当社REP販売 1-6月累計    USTMA REP需要 1-6月累計

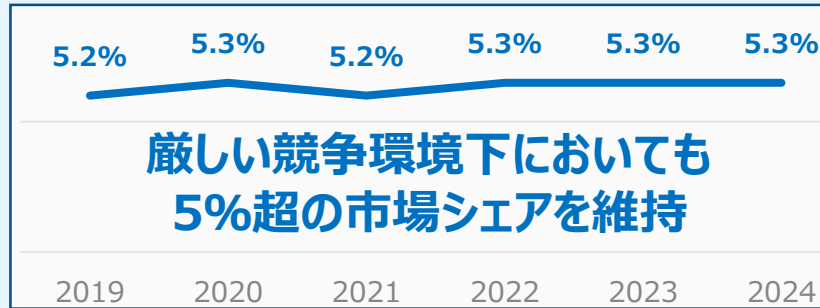
**116%** vs **101%**

### 欧州

当社REP販売 1-6月累計    欧州REP需要※ 1-6月累計

**129%** vs **80%**

### YOKOHAMA米国TBR販売シェア推移



※当社推定

◆三重工場 小径トラックタイヤ向け（17.5”）  
増産投資完了・稼働開始  
2024年5月よりフル生産



## MB事業

### リソース集中による強化・拡大

**ホース配管**  
成長ドライバー

**工業資材**  
安定収益化

◆油圧ホース  
バリューチェーン再構築

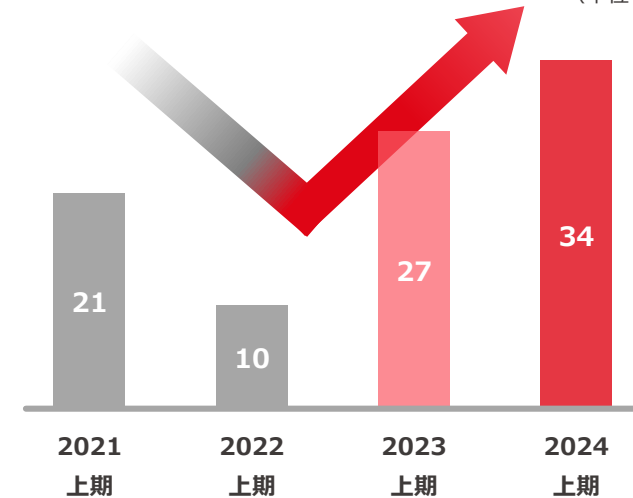
◆コンベヤベルト  
国内トップシェア

◆自動車用ホース  
生産構造の改革

◆マリンホース・防舷材  
高収益体制の確立

### MB事業 事業利益推移

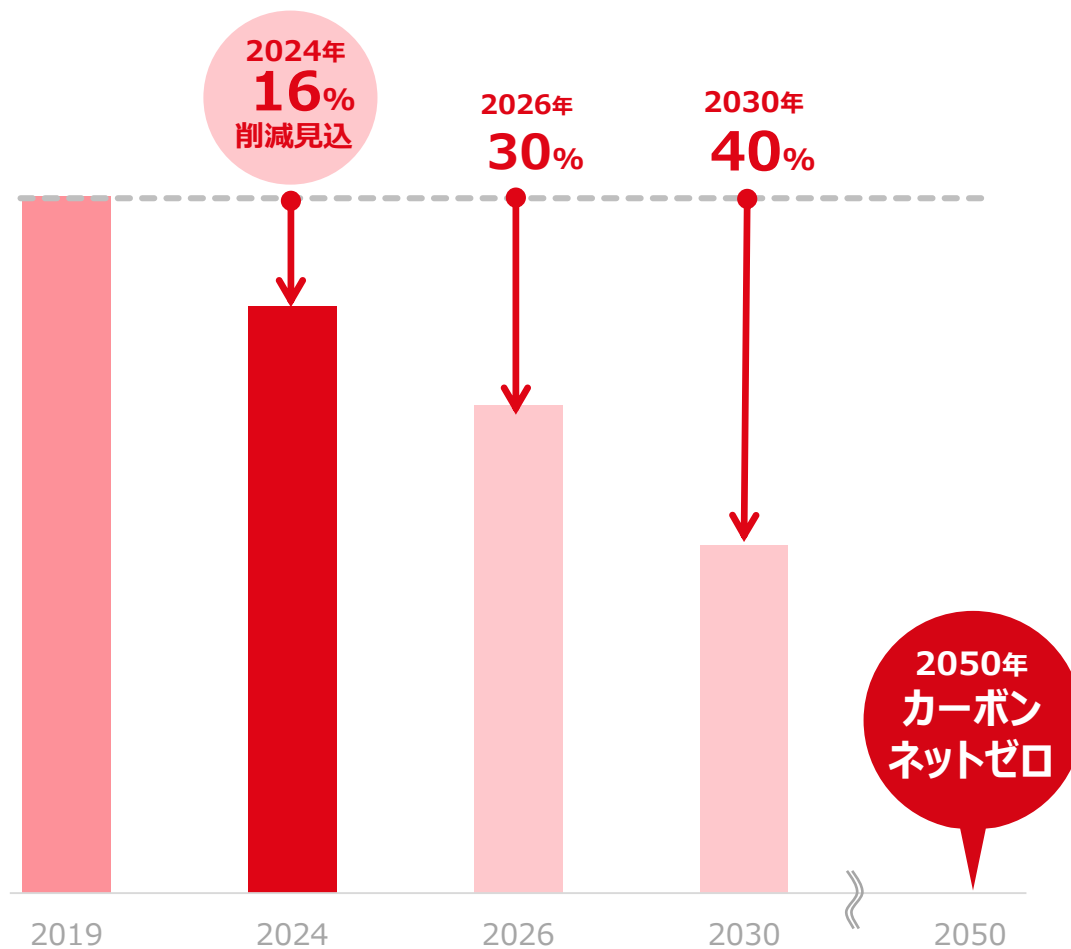
(単位：億円)



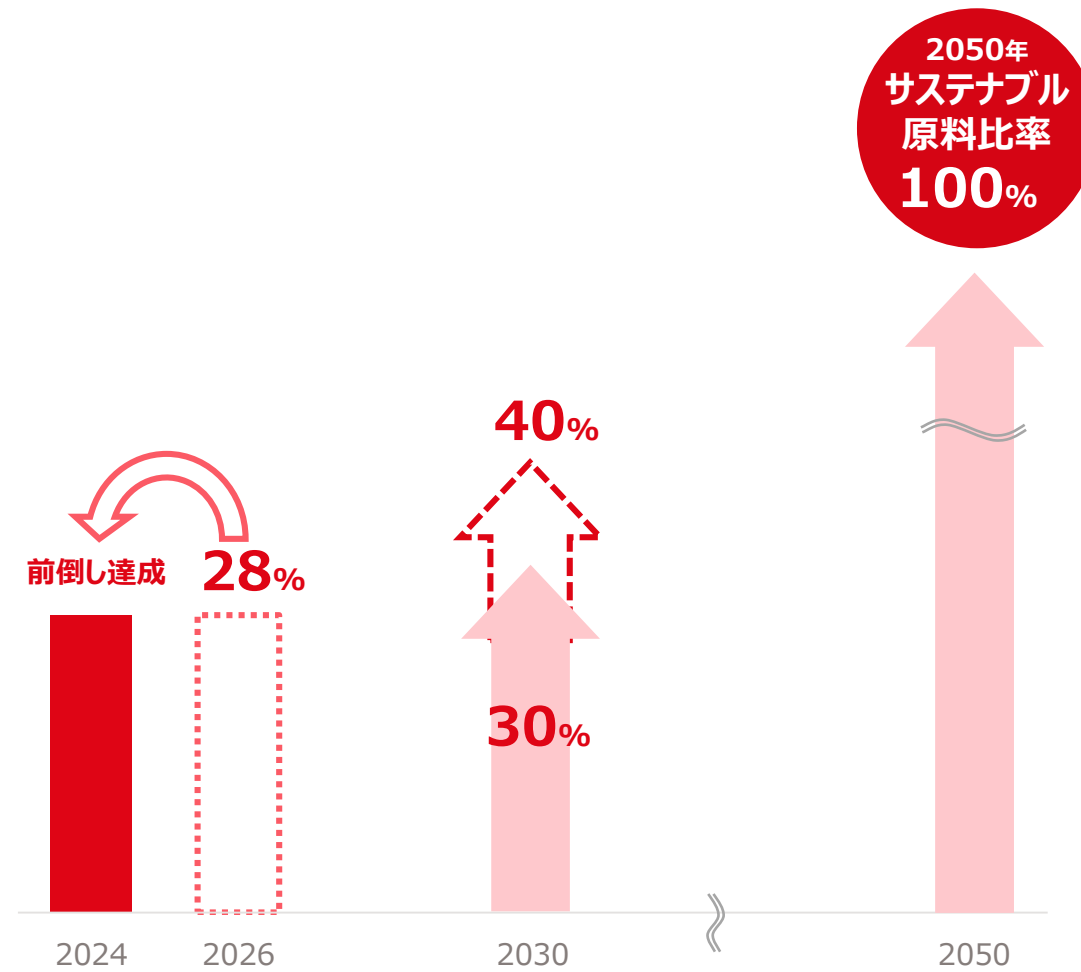
# 3-11) YX2026 サステナビリティの進捗



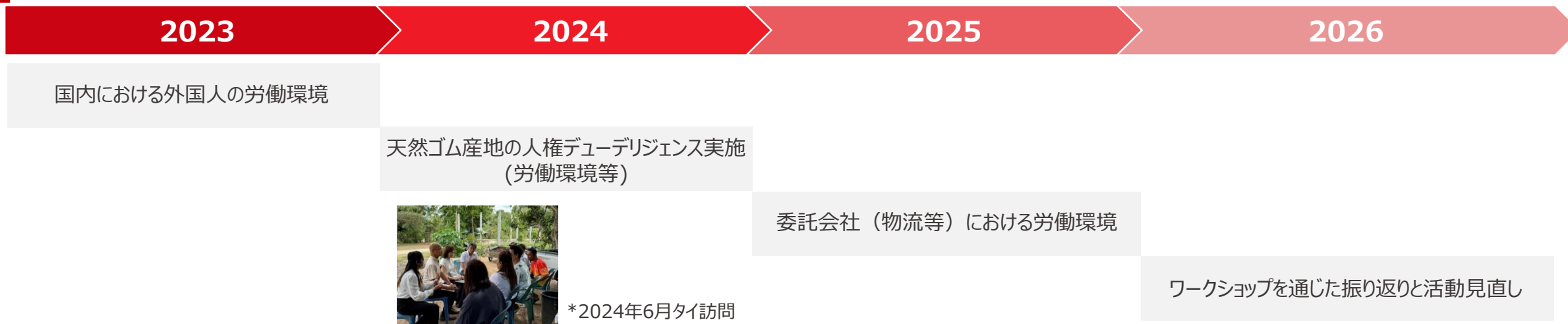
## 温室効果ガス排出量削減の進捗



## サステナブル原料比率向上の進捗



## 人権デューデリジェンスの取組みとロードマップ



## 「サステナブル調達」の評価検証

環境省「先端技術を用いたASEAN地域からの自然資本のサステナブル調達の評価検証事業」



衛星に搭載されたセンサーで取得された情報を解析するリモートセンシング技術などを活用

### 実施体制

みずほリサーチ&テクノロジーズ（研究代表機関）  
国際航業（共同研究機関）

### 【協力機関・学識者】

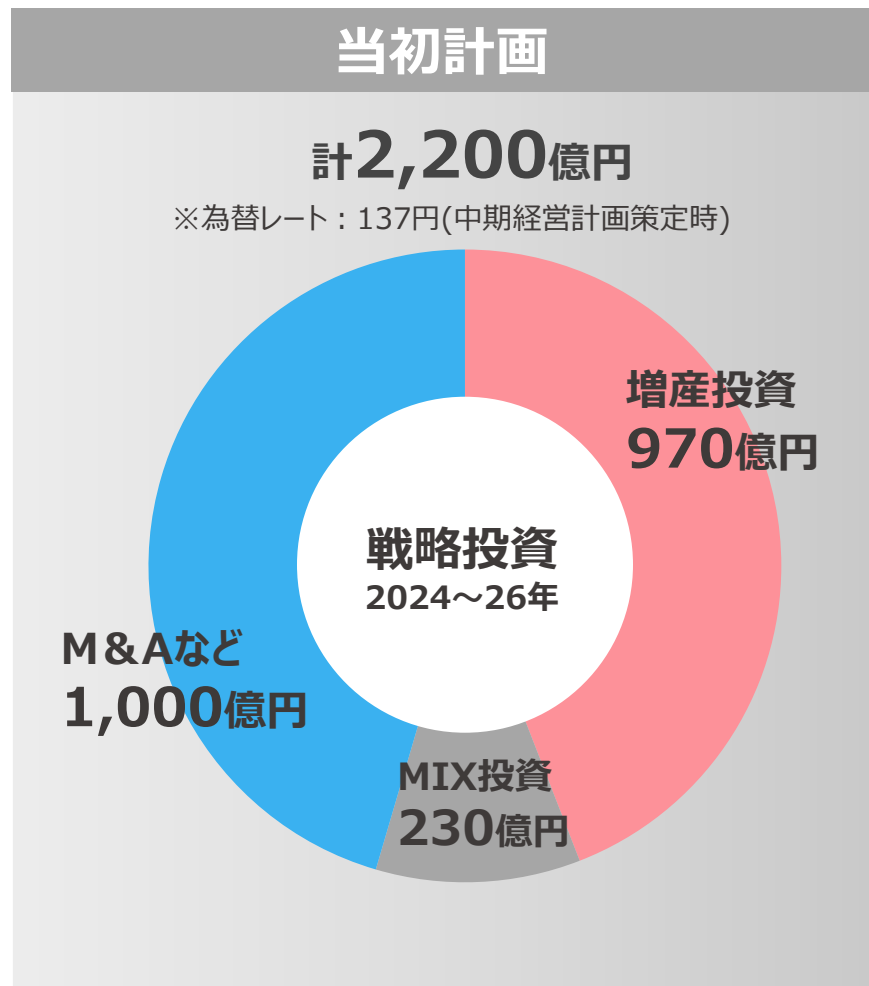
横浜ゴム  
UCC上島珈琲  
みずほ銀行  
バイオーム等

## 外部評価

ISS ESG格付  
(Institutional Shareholder Services社)  
「ESGコーポレート・レーティング」の  
「プライム」評価に初認定



# 3-13) YX2026 企業価値向上に向けた戦略投資の進捗



**1. 2024年上期実績および年間計画修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**2. 2024年上期決算説明**

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

**3. 中期経営計画YX2026の進捗**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**4. 技術・生産改革コミットメント**

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

**5. YX2026目標数値の上方修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

## タイヤ消費財「技術・生産」改革

### 『よいものを、安く、スピーディーに』

#### ◆タイヤ開発スピードアップ

AI・シミュレーション技術活用  
新興カーメーカー対応、投入新商品の最大化

#### ◆『1年工場』への挑戦

早期立ち上げ ➡ 早期投資回収  
自前主義からの脱却、買収シナジー最大化

スピーディー



よいもの  
(品質)

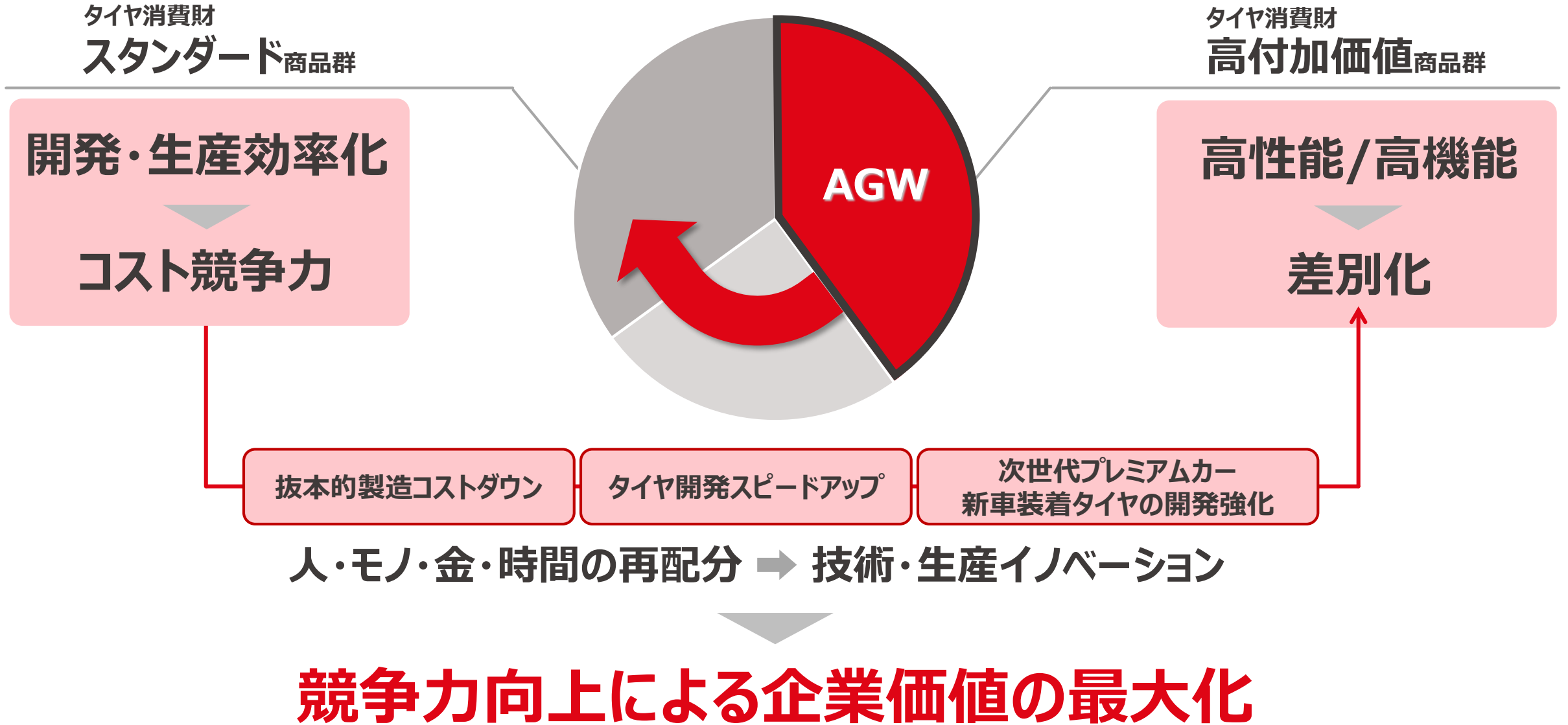
安く  
(コスト)

#### ◆次世代プレミアムカー 新車装着タイヤの開発強化

プレミアム電動車対応・耐摩耗・軽量化

#### ◆抜本的製造コストダウン

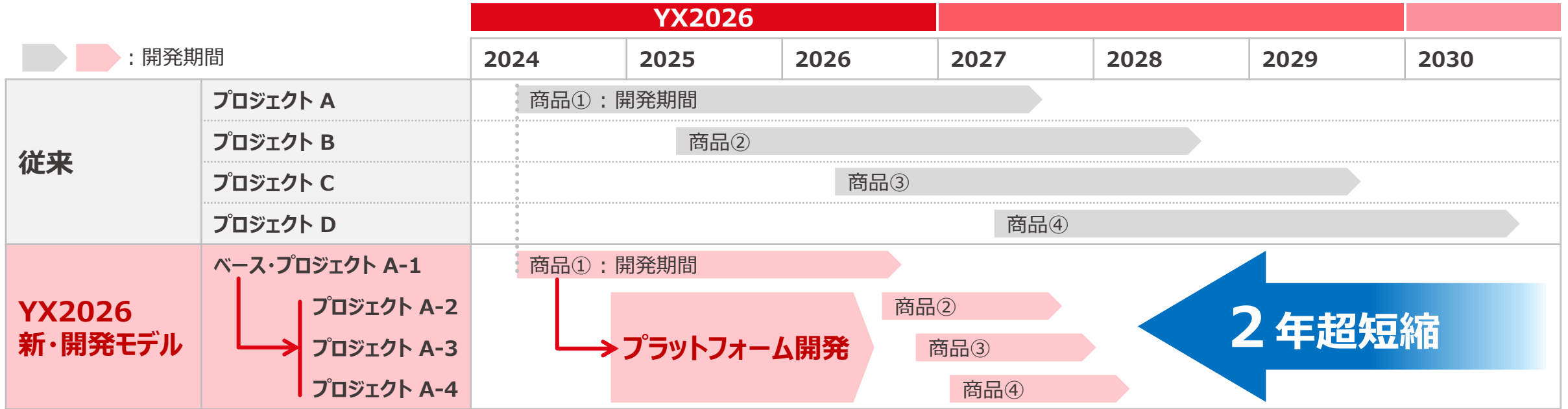
ATGの低コスト生産モデルの応用  
買収スケールメリットによる原料調達コスト低減



# 4-3) YX2026 技術・生産戦略：タイヤ開発のスピードアップ



## 新商品 開発期間の短縮



共通パーツの使用拡大



HAI CoLabの活用※

バーチャル・シミュレーション開発

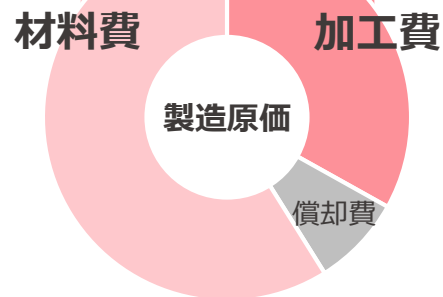
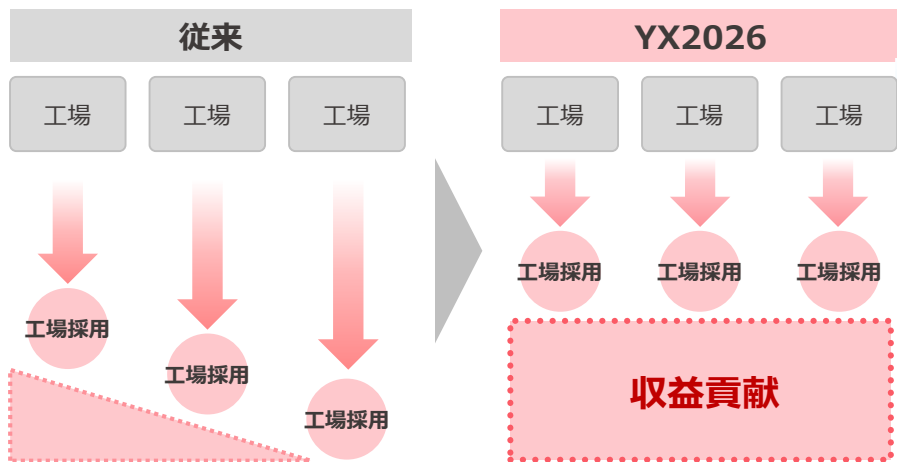
**市場トレンドに合わせた早期商品投入  
商品ライフサイクルの最適化による収益貢献**



# 4-4) YX2026 技術・生産戦略：抜本的製造コストダウン

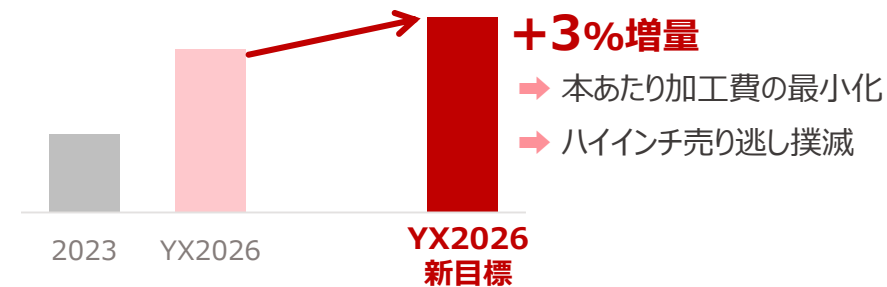
## 材料費 コストダウン

- ◆ 新規サプライヤーの積極採用
- ◆ 汎用性の高い原材料の採用拡大
- ◆ 新規原材料の評価～採用プロセスのスピードアップ



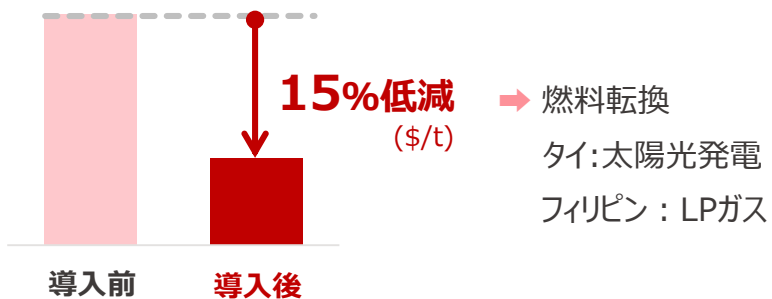
## 加工費 コストダウン

- ◆ ハイインチ生産設備の能力・稼働率の最大化 (フィリピン/タイ)



材料費コストダウン 加工費コストダウン

- ◆ エネルギーコスト削減 (フィリピン/タイ)



抜本的製造コストダウン  
**65億円削減**

**1. 2024年上期実績および年間計画修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**2. 2024年上期決算説明**

取締役執行役員 経理部・IR室担当 結城 正博

**3. 中期経営計画YX2026の進捗**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

**4. 技術・生産改革コミットメント**

代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

**5. YX2026目標数値の上方修正について**

代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝

## 2026年度修正財務目標

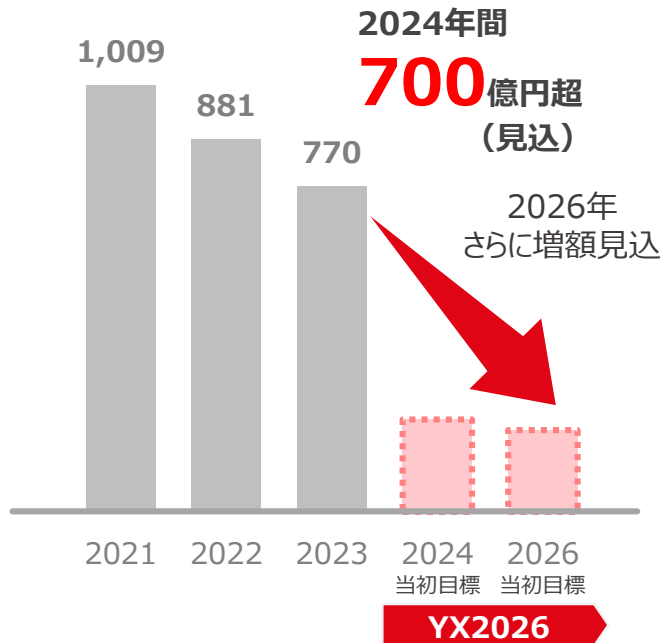
売上収益	1兆2,500億円
事業利益	1,500億円
事業利益率	12%
自己資本比率	50%を目安
ROE	10%超
営業CF	4,100億円 (3年間累計)
設備投資	減価償却費以内 (除く戦略投資)

## PBR向上

### 政策保有株式

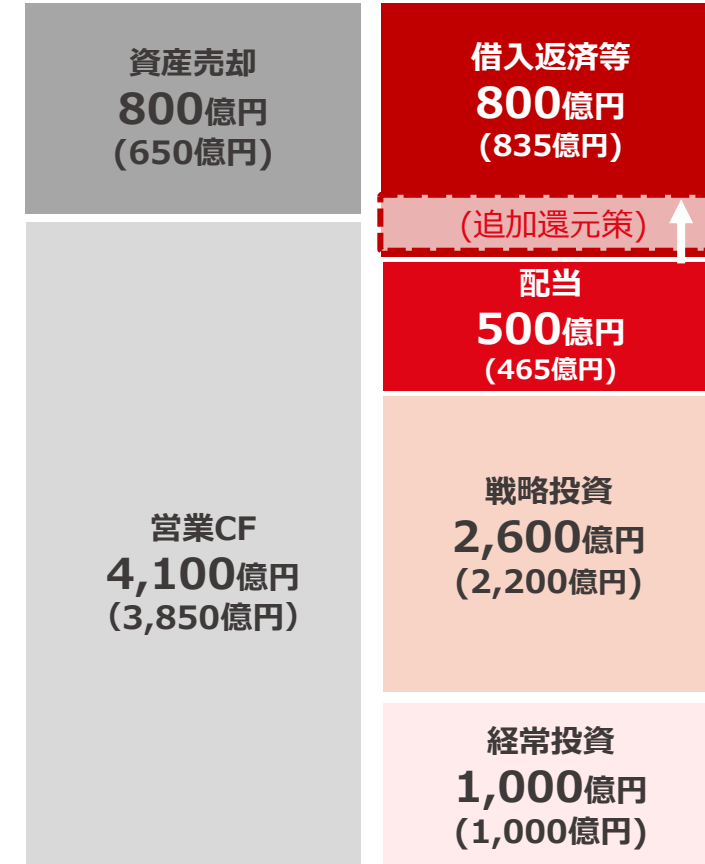
期初目標 約600億円売却

政策保有株式残高（時価）



### キャピタル・アロケーションの変更

キャッシュイン／キャッシュアウト  
4,900億円(4,500億円)



※自己資本比率50%  
を大きく超えた場合

(カッコ内は変更前)

# 5-3) YX2026 Hockey Stick Growthの実現



過去100年の集大成

総仕上げ（過去との決別）

GD100

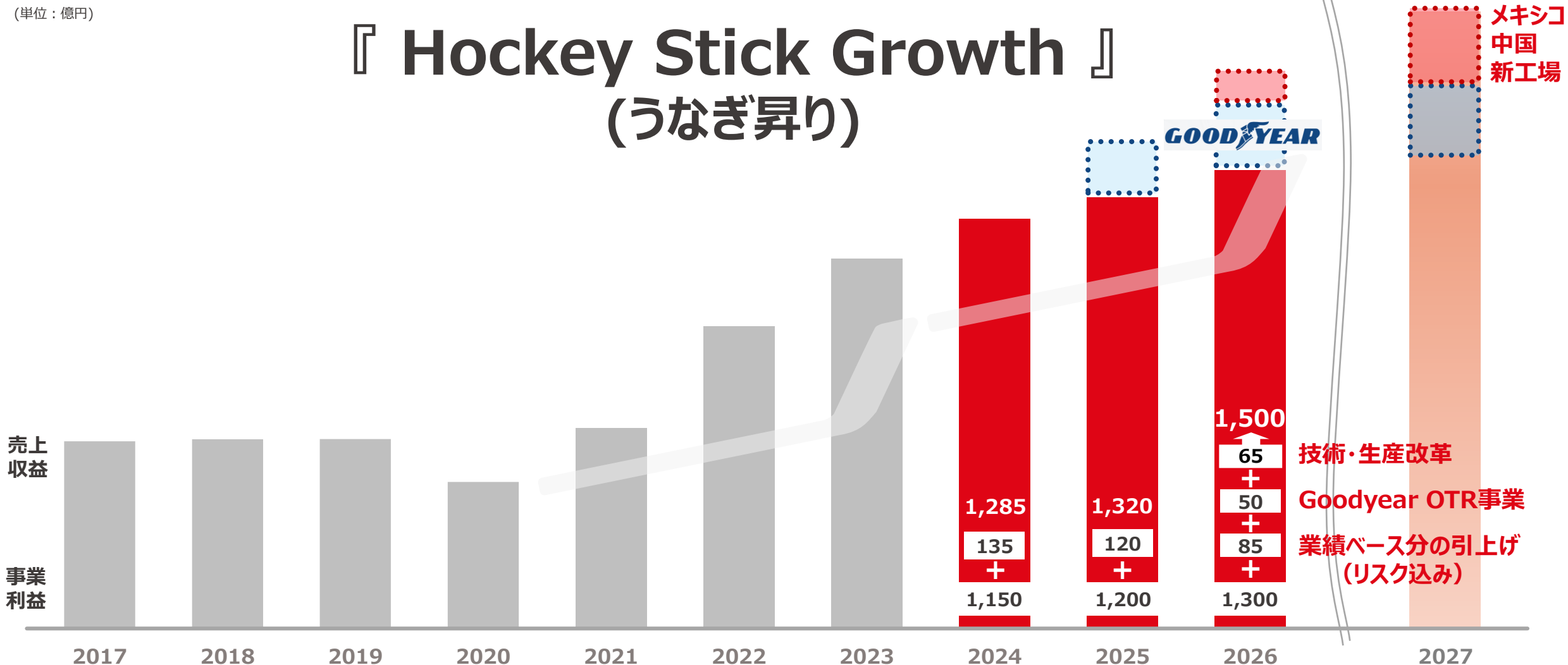
GD2020

YX2023

YX2026

(単位：億円)

## 『 Hockey Stick Growth 』 (うなぎ昇り)





**YOKOHAMA**  
**Transformation 2026**